

広報 ごじようめ

発行 五城目町役場 ☎01885②2100 代
☎018-17
秋田県五城目町高崎字雀館下川原64の4
編集 文書広報課
印刷 湖東印刷所 ☎01885②2430
毎月1日・15日発行 一部 35円

子どもの祭典 多彩なプログラムで



落書コーナーを楽しむ子どもたち
五小グラウンドで

おあげします

チビッコ警官を先導にパレード

八月七日、五城目小学校グラウンドを会場に、第十一回子どもの祭典が行われた。
当日、祭典の始まる前秋田陸上自衛隊第二十一普通科連隊のご協力により、ヘリコプターに「体験とうじょう」したほか、午後三時から、秋田県警察音楽隊による町内パレード等があり、祭典のムードアップは最高であった。このパレードの先導役を務めたのが、交通巡査の衣服に身を包んだ五城目幼稚園児たちで、そのかわい行進の仕草は、沿道で声援をおくる人々の人気を呼んだ。

人気のあった落書・将棋・落書

午後四時から始まった「自由コーナー」では輪まわしなど十三種目の遊びがあったが、今年の特徴は「囲碁」「将棋」に人気のあったことである。喧(けん)騒たるグラウンドの中で、その部分だけが静寂を保ち盤の上で火花を散らしていた。かたわらに思い思いの楽な姿勢の野次馬生徒、岡(おか)目八目よろしく責任のない声援をおくっていた。

すべてを忘れて駒を進め、白黒の石を追いかける頭の運動もまたよしとしたところ。

思いのほか人気のあるものに「落書コーナー」があった。文字の上手下手は関係ない、だれに遠慮があるものか、何を書いても制約がない。目ごろのうっせきをマジックペンに託す。夜を徹して語り明かすあの心境に類似点がある。

音楽隊の演奏にさかんな拍手

午後五時すぎから、秋田県警察音楽隊の演奏があった。コンタクターの解説入りの演奏であった。そのあとバントワラーのすばらしい演技と、音楽隊員二十一名の乱れぬドリム演奏は、観る人々を魅了した。

人々の善意に支えられて

綱引き競技の勝負がつくごとに子どもたちの歓声は山にこだました。汚れない声である。この祭典が子どもたちの成長過程において役に立っているのだろうか、そんな心配をかき消すような明るい笑声であった。祭典のフィナーレは、百三十発の花火で砂沢の夜空を飾った。この町の施設の名称をつけたものが多かった。町内を知る上でもよい趣向だと思った。ハブニングもあった。しかし十一年目の歴史を刻んだこの祭典は、数多くの人々から寄せられた善意に支えられて終ることができた。子どもたちを思う大人たちの気持が夜空を飾った花火の思い出とともに、一人一人の脳裡に刻み込まれるならば、この上望むことはない。

町の施設にほこりをもって

1 町づくりに活発な提言

八月十五日、三十六年前太平洋戦争が終った日である。この国においては、いろいろな意味で記念すべき日であり、歴史の節目の日であり、いまわしかった事実の風化の許さない日でもあろう。

この町で八月十五日に成人式を行うようになってから、すでに、十二年目を迎えている。戦争を知らない青年たちが、この日に式を挙げられることは非常に意義の深いことである。今年成人に達した青年たちから協力をいただき、座談会を開いた。一見、社会のできごとには無関心なようにみえたが、ふるさと五城目のことは実によく知っていた。「五城目町」の町民であることに胸を張っているとも言った。うれしい言葉である。少人数を心配したが濃度の濃い座談会になった。(紙面の都合で内容を割愛したことをお詫びします)

《新成人座談会》

司会：みなさん、今日はお忙しところお集りいただきありがとうございます。
新しく成人になられたみなさまに心からお祝い申し上げます。
初めに町長から新成人に對するお祝いのことを一言お願いしたい。



町長：みなさん成人おめでとう

ごさいます。ご両親をはじめ、ご家族のみなさんが、一人前になったことをさぞかし喜んでおられることと思う。

これは、町ばかりでなく国でも二十一世紀を担う方々であるという期待から、大変に心強く心から喜んでゐる次第である。

今日は、みなさんが将来にどのような期待を持っているのか、現在に對する不平不満、日ごろ考え

他人に迷惑をかけないように

館岡：成人になった実感はまだない。社会に出て勤めているから成人になったと認められているところは、一割くらいは思っている。成人になったからには、一生懸命努力して周りの人にご迷惑をかけないようにしていきたい。

実感はまだわからないが

岩谷：成人になったという実感はまだピンとこない。これからは選挙権を得た一人として、社会に接し、対処していかなければと思っています。

有権者としての自覚を

嶋崎：選挙権を与えられることが成人になった実感となっている。有権者として自分の行動に責任をもつて頑張りたい。

自分を振り返ってみよう

小玉：成人になってというよりも、今の時点で自分のことを振り返る節だと思ふ。自分の人生の間のちようど過度期といったらいいか、子どもから大人に変わっていくのが、大人にもなり切れない一つの節にあっていると思う。

司会：始めに館岡さんから成人になった感想を述べていただきました。

司会：町長が成人のころの青年かたぎはどのようなものでしたか
早かった一生に對する自覚

町長：私は学校にいたので、正確に二十歳という年ではないけれども、ほかの多数の方々は、徴兵検査という節目があった。

館岡：日本の男子に生れたものは、二年間徴兵の義務があった。ことの良し悪しは別として、社会全体が日本の進むべき目標に向って、学校教育なり社会の努(ふん)団気が形づくられておった。現在よりも平均して青年たちには目標があったのではないと思う。

自分の一生に對して自覚する年代が早かったと思うし、私としてはあまり悪いことではなかったと思っている。

反面、今の若い人たちはごくろうだと思ふ。今を振り返ってみて明日からなにをするかという機会を作ることは大変意義があるし、そのような受けとめ方で成人式を迎えることは、よい心掛けだと思ふ。

司会：町では、すでにみなさんご承知のとおり、広域体育館や温水プールなどいろいろ施設があるわけだが、利用してみても何か問題点について遠慮なく述べてほしい

整備された野球場を

嶋崎：現在役場の野球チームに入っているが、南秋地区を中心にして他町村では年々すばらしい野球場の整備されているのを見ると、五城目町にもぜひほしいものだと思っている。

プールの利用時間帯にズレ

小玉：ぼくは水泳実習があるので、一カ月の間に十回前後プールを利用させてもらったが、午前中の練習はできなかった。これは、



子どもたちを対象にした時間帯のためだと思うが、時間帯のズレを感じた。

多い広域体育館の利用者

岩谷：広域体育館を利用していただいている。この体育館は、若妻会のバレーの練習とか、いろいろな種目で結構利用者が多い。温水プールの方は、子どもたちの利用が多いようだが、仕事の関係などで利用者の時間帯がやはり問題だと思ふ。

一度泳いでみたい

館岡：プールではまだ一度も泳いだことがない。自分では泳いでみたいと思っているが、なんとなく時間がかみ合わなくて、立派な施設があるのにもったいないと思っている。

広域体育館は、中学、高校時代体力の弱かった私は、よく利用させてもらった。

司会：町長からこのような施設を造ったネライについて説明方をお願いしたい。

雨天でも利用できる施設

町長：この町でスポーツをやりたいと思っている人がたくさんい

るのにその場所がないというのが端緒になった。

秋田県は雪国で雨が非常に多い従って、雨が降っても利用できる広い面積の場所がなければならぬこと、あの広域体育館を造った。

実際運動に利用する床面積は県立体育館より広く、広い方は主に球技用で、サブ体育館は武道(柔・剣道)用でどちらもスプリングが入っている。県内では、五城目以上の体育館はまだないと思っている。

温水プールは、いずれ町長を辞めるまでには造らうと思っていたが、幸か不幸かこんなに早くでかせるとは思っていなかった。

水泳は、個人個人の体力に依じて若者男女関係なく全身運動ができるものとして一番である。

町内の小、中学校に全てプールを設けてあるが、極端に暑い年でも三十日使用することはないし、冷たい夏の場合は七日にも満たないのが現状である。

町内のみなさんに、健康で長生きしてもらいたいとする願いをこめてプールを造ったわけである。時間帯の問題については、担当者としてよく検討してみたい。

基礎体力

気力・耐久力を充実

弓道場は、五城目町のような規模のところには造らせないという方針であったが、各方面の方のお力添えを得て完成させることができた。

テニスコートは四面造ったが、利用状況からみてまだ足りないようなので、役場移転後の運動公園整備計画の中でよく検討しておきたい、相撲場を造ったのは、気力耐久力など基礎体力をつけるには相撲が最もよいと思ったからであ

中、高校生のいろいろな競技を見て最も欠けているのが、この気力・耐久力である。私は小学校の段階までは、基本的な体力をつけるのを主とすべきではなからうかと思っている。その意味で、今年各小学校に相撲場を造っている。指導者が大変不足しているが、基礎体力・基礎技術を主眼にしてやってもらいたいと思っている。

夜間照明を考えている

運動広場は、多面的に利用できるようにしているが、役場移転後の整備の中で、夜でも野球がやれるような夜間照明もぜひ考えていきたい。馬場目川護岸を利用しているランニングロードは、今年から仕事に入りたいと思っている。病気になる前は社会保険で経済的な保障をしてくれ、自らの健康は自らが築きあげていくことにあると思う。この運動公園の一番の目標は、町内のみならず健康で長生きするために、そのような体づくりをする場所とし、活用してもらうことにあるので、大いに利用していただきたい。

司会：温水プールの利用についてはいろいろな問題もあるようですが声を大にして、たくさんきてく



ださいと呼びかけるよりも、友人や家族が連れ立って長く続けていただき、健康上にその効果が出て

くると、利用者はひとりで多くなってくると思うし、その点長い視点が必要だと思われる。

町ではこのほか、赤倉山荘、大川農村環境改善センター、森山公園、野鳥の森、太平山自然公園などがあるが、みなさんのご意見をお伺いしたい。

梵鐘の音色が好きだ

岩谷：野鳥の森にはよく行くが大変よい自然環境だと思う。いろいろな鳥獣がいるようだが、放し飼いが、見やすいし、動物のためにもよいと思う。

森山の頂上に鐘楼が建てられ、ときどき鐘の音が聞えてくるけどあの音色がすごくよいと思っ

国道二八五号線を整備して

嶋崎：五城目町内をほぼくまなく回って見たが、内川、富津内、馬場目に抜ける林道など大分整備されているのに驚いた。また、秋田市から鹿角市へ通じる東北縦貫道へは、本町を貫通している国道二八五号線を通るわけだが、この路線をもっと整備するならば、産業路線として国道七号線よりもっと重要なものになり活用されると思う。

小玉：広域体育館、温水プール、森山公園などいろいろ施設の維持費も大変だと思うが、この町の場合、自然に触れる機会も多くある

ので、人間性にしてもそのようなところから生れてくるような気もしている。

か、ご意見を伺いたい。

公営住宅を

人口流出の歯止め

嶋崎：この町の人口は、昨年の国勢調査で一六六千人弱となっているが、以前は二万人を数えたこともあるときいている。過疎化が



進む状態の中で、一戸建は人口流出の歯止めにも力な手がかりとなると思うので、このあたとも大いに建設を進めてほしい。

町の広がりが見られる

小玉：人口のことはよくわからないが、森山の麓と五一中の高崎寄りに町営住宅がある。それを見るとこの町がどんどんと広がりをみせていると思う。そこには、子どもたちの公園や集会所なども建てられており、住宅の面からみるとこの町もだんだん大きくなっていくのではないかと気がえしている。

自然の中にある

嶋崎：この町は、自然の中に街がだんだん造られてきているが、家を建てるにも経済的に大変な方がたくさんいると思うわけで、町営住宅はどしどし建ててもらって町をそして人口を少しでも大きくしてもらいたい。立派な施設もいっぱいあるので、大いに利用して町の発展に役立ててもらいたい。

町営住宅は町の発展に役立つ

岩谷：町営住宅はまだまだ利用したい人がたくさんいると思う。小さな町内をひとつずつ増やしていくことが、この町の人口増や発展につながっていくと思う。

司会：最後にみなさんから、この町に対する希望、あるいは、他町村と比べてみた場合のご意見を一言お願いしたい。

馬場目川に関心を

小玉：秋田市に通っているが、人間のなつながら言え、一つのまとまりがある。よい例として町内対抗総合体育大会などで、町内会の同志がよく協力し合っている、秋田市ではみられない風景である。この町はもっと馬場目川を重要視してもらいたい。水質の汚れはまだ解消されておらないと思うし、魚が住みやすくなる川にするため、上流の人も下流の人ももっと関心をもってもらいたい。

五城目は素的な町

嶋崎：五城目に駅がないのが残念である。駅があればもっと発展していったと思う。よく五城目から



通勤していると言われるが、私はいつも「五城目は素的な町ですよ」と胸を張って答えている。それはすばらしい緑の環境に、すばらしい施設がいっぱいあるから。私は一人娘なので五城目町に住むこ

とになると思うが、結婚後も勤められるような大きな会社を誘致したら、人口もだんだん定着してくると思う。

変ってきた考え方

岩谷：つい最近まで田舎町だと思っていたが、いろいろな立派な施設が整備されてくる、道路もよくなるので、町に対する考え方が変



ってきている。友だちはみな県外へ就職したが、私は外へ出たくなかった。

駅のハンディを道路整備で

嶋崎：さきほど嶋岡さんのお話にもあったが、町に駅があるとしないのでは、町の発展にも影響すると思うが、それに対処するには町内のあらゆる道路を拡幅整備して、ドライバークが安心して走れるようにしてほしい。道路網を整備充実することで、駅に対するハンディも解消されると思う。

司会：これまでみなさんから述べられたいろいろの意見に対して町長から総まとめをしていただきたいと思う。

賛会的なセンス田舎的な良さ

町長：いろいろな仕事があるわけだが、町、国、県そして住民自身からやってもらわなければならないことは、ばく然とながら分類できる。町の予算は四〇億で、そのうち町内のみなさんからいた

いている税金は五億に満たない。この中で不特定多数の要望に応えていかなければならないので、計画的に町の仕事を進めているところである。

道路網の整備にしても、まず国道の幹線計画をたて、それに結ぶ町道や農道の整備を考える。

既存の道路をそのままの形で舗装していくか、それとも消防車や除雪車が十分動きのとれるような幅を確保してから舗装した方がいいのか比較した場合どちらが経済的なのか自とご理解できると思う。

さきほど田舎という言葉が出ていたようだが、交通が不便でも、都会よりすぐれた面がたくさんあり、田舎だということとは都会より劣っていることではない、という考え方になってきている。人間が成長する過程において、山や川の自然に接して始めて健全な人間が育つわけで、単純に都会より劣っているという考え方にならないでいただきたい、都会的なセンス、田舎的なよいところ、この点を評価してもらえれば幸いである。

今日の座談会のテーマをみて、果して思っていたが、みなさんがよく町内の施設を知っているのに驚いた。それに、自分なりに立派な意見をもっており非常に意を強くした次第である。今日は本当にありがとうございました。

出席者（敬称略）

小玉 史男（畑町）
嶋崎 一人（下樋口）
嶋岡 あけみ（高崎）
岩谷 初子（湯ノ又）
加賀谷 力司（町長）
伊藤 卓治（助役）

希望の鐘をつく時の注意

秩序ある鳴らし方を

希望の鐘は、本町の平和と発展、町民の幸福を願って、新町誕生二十五周年を記念し設置したものです。この趣旨を理解し、秩序正しい鳴らし方をされるようご協力をお願いいたします。

梵鐘は、本町出身で東京在住の松橋福蔵様ご夫妻が寄贈したもので、八代を継承し、名匠と名の高い渡辺市郎先生が鑄造されたものです。また、鐘楼はすべてケヤキ材を用い、全国でも屈指と評価の高いものです。

① 鐘を鳴らすときは、撞木（鐘を撞く木）に結んである「ひも」を両手でにぎり、撞木を一、二、三と数えながらゆっくり振り、三のときに鐘座（鐘を撞くカ所）を撞いてください。

② その場合、人の力ではなく、撞木の重さを利用して鳴らすよう

に心がけるとともに、撞木が反動で再び当たらないよう「ひも」を両手でおさえてください。

③ 一人一回限りにしてください。

④ 二人以上の方が鳴らすときは二十秒以上の間隔をおいて鳴らしてください。

⑤ 余韻（まだ鐘のひびきや振動がのこっている状態）のあるうちは、鐘に手をふれたり、再び鳴さないでください。鐘音が乱れるばかりでなく、鐘に「ひび割れ」が生じます。

⑥ 乱打や、石を投げつけること、また所定の鐘木以外のものでも鳴らさないようにしてください。備付けの撞木は、その太さ、重さやわからかさなど鐘とのバランスを考慮してあり、樹種は「ひめこまつ」です。

⑥ 鳴らす時間が無秩序の状態でも苦情も出ていますから、午前八時前と午後五時すぎは、鳴らさないでください。所定の時間外に鳴らすときは、役場林政課の許可が必要です。

盆踊りは雀館線で

五城目町盆踊り大会は八月二十七日、二十八日午後七時三十分から雀館線道路で行われます。二十八日の町内部落対抗は、町内対抗総合体育大会の一種目になっています。昨年は、山手線のけやき通りで行いましたが、参加者が多く踊りの輪が二重になったため、今年は会場を雀館線に移したもので

9月 テレビの防災番組

▽ A B S

ごぞんじですか？

― 防災ミニ百科 ―

（毎週 木曜日）
午前10時25分
3日 防災の日と私たち
10日 地震！正しい情報を送る私たち

17日 正しく利用 119番
24日 私の街の自主防災
▽ A K T
そのときあなたは？
― くらしの中の防災 ―

（毎週 土曜日）
午前8時25分
5日 自主防災組織
わが町は生き残った
12日 自主防災組織
参加しよう防災訓練

農業委員 決る

新しい農業委員は次のとおりです。

会長 佐々木輝雄（議会推薦）
会長職務代理 沢田石栄之助（選挙）

佐々木忠雄（選挙）
三浦 俊蔵（農協推薦）
原田 悦実（選挙）
伊藤 重孝（選挙）
伊藤 新悦（選挙）
沢田石亀雄（議会推薦）
佐々木仁光（選挙）
小玉祐太郎（選挙）
佐藤 博（選挙）
金野 房治（選挙）
館岡 辰雄（選挙）
石井 章司（選挙）
猿田 勇（選挙）
館岡 金男（議会推薦）

四人に銀色有功章

このほど、永年にわたって献血運動に協力した次の方々に、日本赤十字社から銀色有功章が贈られました。

これは、献血回数三十回以上の人に對して贈られるものです。

石川 幸雄（一番町）
渡辺 鉄男（今町）
渡辺 秀勝（田町）
加藤 久悦（野田）



19日 火災からの避難方法
ホテル・旅館火災
26日 消防機関の活動

歌会始の詠進歌

9月1日から公募

宮内庁では、九月一日から、昭和五十七年歌会始の詠進歌を公募します。

お題および詠進要領は次のとおりです。

▽昭和五十七年歌会始のお題
「橋」

▽詠進要領

・自作の歌で一人一首、未発表のものに限る
・用紙は半紙（習字用の半紙がよい）とし、毛筆で自書のこと
・代筆の場合、その理由を書いた別紙を添付する

▽注意事項

次の場合は失格となります。
・一人で二首以上詠進した場合
・詠進歌がすでに発表された歌と

▽詠進の期間

九月一日～十月十二日
郵送の場合は、十月十二日の消印まで有効

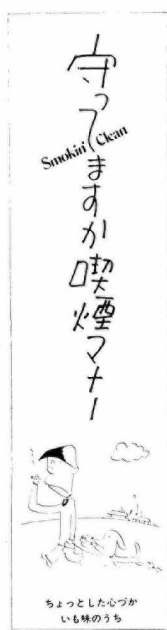
▽郵便のあて先

〒一〇〇

東京都千代田区千代田一番一号
宮内庁

（封筒に「詠進歌」と書き添えること詠進歌は小さく折ってもよい）

※疑問の点は、宮内庁式部職あてに、住所、氏名を書き、返信用切手をはった封筒を添えて、九月末日までに問い合わせてください。



住宅金融公庫

財形住宅融資のご案内

住宅金融公庫では、財形貯蓄をしている勤労者（三年以上行い、その残高が五十万以上ある方）を対象に財形住宅融資の借入れ申込みの受け付けを行っています。この融資は、公庫の一般個人住宅融資などとあわせて利用することができ、ます。

▽申込み受け付け期間

五十六年四月二十七日（月）から五十七年二月二十七日（土）まで

▽融資額

財形貯蓄残高の三倍（千五百万円が限度）

▽利率

年七・九八割

（この金利は、昭和五十六年七月一日現在の金利ですが、今後の金融情勢の変動により変更することがあります。）

▽返済期間

・新築住宅 造：二十五年以内
・中古住宅 造：三十五年以内
・住宅改良 二十年以内

▽返済方法

元利均等毎月払い（ボーナス払いの併用もできます。）

※詳しいことは、公庫業務取扱金融機関または住宅金融公庫へおたずねください。

資料館めぐり

～県立博物館～

県立博物館では、秋田の自然や文化を学び、郷土について理解を深めようと、一般の人を対象に資料館めぐりを行います。

参加は無料で、定員は四十五名です。

▽日時 56年8月30日（日）
午前8時～午後5時10分

▽見学場所

阿仁町 集会所（異人館）
県指定有形文化財

（明治初期の洋風建築）
広山洞 阿仁鉱山の鉱物標本・古文書・鉱山資料

伏影分館 阿仁周辺の民俗資料
合川町 森林展示館

森林用具・剥製

▽日程

8、00～8、10 集合・受付
（秋田駅前バス停0番ホーム）
8、10 出発（貸切バス）

▽申込み

一人一枚のハガキに住所、氏名、電話、職業（学校名）、年齢（学年）、性別を記入し、8月20日まで申し込みください。

〒001-01

宛先 秋田市金足ニホ崎字後山52
秋田県立博物館教育普及担当
電話 〇六八—四二二
内線 四三

▽持ち物・服装

昼食・水筒・筆記用具・軽装

遠距離通話を値下げ

五城目電報電話局

遠距離通話料が値下げになり、日曜・祝日の通話料が現在の夜間割引の通話料と同じになります。

▽遠距離通話料金の値下げ

五百キロメートル以上（大阪・

京都など）の通話料金は昼間でも現行の約一四割、七百五十キロメートル（広島・熊本など）を超える約一七割の値下げになります。（八月五日から）

▽日曜・祝日の通話料の割引

現在実施している夜間割引の料金を日曜・祝日に限り昼間でも適用されます。（八月九日から）

カメラレポート

夕涼みを親子で楽しむ

五城目保育園保護者が計画

七月十八日午後六時から、五城目保育園で園児と父兄の夕涼み会が開かれました。

これは、五城目保育園保護者会（会長今村多恵子）が、納涼の夕べのひとときを親子で楽しむという計画したもので、今年が四回目です。

会場の園庭には、お父さんやお母さんたちの夜店がたち、人気マンガのドラエモンや縫いぐるみも登場し、愛きょうをふりまきました。ゆかた姿の園児たちは、ワタアメやホットドック、アイスクリームを買ったり、金魚すくいを楽しみました。

また、お父さんが打ち鳴らす太鼓にあわせての盆踊り、豆電球をかざしてのハミングトーチ、花火も行われました。

当日行われたバザーの商品は、保護者会員の寄付によるもので、収益金は夕涼み会の費用にあてられました。



森山の山頂で眺望を楽しむ

林政担当者が視察

だまこもちで歓迎

七月九日、地域林業振興検討会東日本地区会議の一行が当町を訪れ、雀巣運動公園の施設や木造一戸建てで全国的に有名な公営住宅を見学しました。また、マイクロバス三台に分乗して、森山山頂に登り、眺望を楽しみました。

一行は東日本地区の自治体林政担当者ら約七十名で、八日に秋田市のパークホテルで会議を開いた後、林業の盛んな当町を視察したものです。

町では昼食時に赤倉山荘に案内し、野外で「だまこもち」と地酒を味わってもらいました。「だまこもち」は好評で、ほとんどの人がおかわりをしていました。



豆電球を手にハミングトーチ

消防訓練大会

三分団の四連覇なる

五城目消防訓練大会は、七月二十六日、雀館運動公園の運動広場で行われ、小型ポンプ操法競技で三分団が優勝し、この競技の四連覇を達成した。



きびきびした動きを見せる団員（第三分団）

午前中規律訓練講習会があり、炎天のもと半ばに地味な姿の団員たちは、行進に汗を流していた。午後から各分団対抗の小型ポンプ操法競技が行われ、一チーム四人が一体となって技を競いあった。この競技はポンプ操作の正確さだけでなく、動作の速さもある点されるもので、スピードのある動きで三分団がみごと四年連続の優勝をなした。

第三分団は、八月十九日、矢場崎グラウンドで行われる男鹿南秋支部消防操法訓練大会に、五城目町を代表して出場する。大会の結果は次のとおり。

優勝

第三分団（馬川）

298・250点

準優勝

第十一分団

（湯ノ又小倉）

293・875点

三位

第八分団（下山内）

292・850点

脇乙チーム優勝

ソフトボール

町内対抗総合体育大会ソフトボールの決勝は、七月二十四日、雀館運動公園で行われ、脇乙チームが畑町チームを2対0で破り優勝した。

七月九日から始まったソフトボールには、五十七チームが参加し午前五時三十分から、雀館運動公園や、五城目小学校、五城目第一中学校、五城目高校のグラウンドで行われた。

試合結果は次のとおり。

三回戦

上山内 9-0 落合

畑町 4-2 八田

中川原 8-6 仲町

中村 12-2 帝釈寺

西野 3-2 下樋口

脇乙 7-6 田町

平ノ下（乗権） 樋口

上樋口 2-1 寺庭

準々決勝

畑町 4-0 上山内

中川原 10-4 中村

脇乙 5-3 西野

上樋口 8-1 平ノ下

畑町 2-1 中川原

脇乙 5-2 上樋口

決勝

脇乙 2-0 畑町

三位決定

上樋口 9-0 中川原

川をきれいに!!

「川を捨てるのはやめましょう」



五城目町

《中学総体》

五一中体操全県を制覇

第三十回全県中学校総合体育大会の体操競技は、七月二十一日、二十二日、秋田市・県立体育館で行われ、五城目第一中学校は男子団体総合で優勝した。

五城目一中は粒ぞろいの選手ばかりで、特に小林智選手は個人総合でも準優勝するすばらしい活躍であった。また種目別では館岡潤選手が床運動で三位に入賞した。成績は次のとおり。

▽体操男子団体総合

一位 五城目第一中

二位 大曲

三位 秋田南

（五城目第一中関係分）

▽同個人総合

二位 小林智

▽同床運動

三位 館岡潤

▽同鉄棒

一位 小林智

▽同跳馬

二位 小林智

五城目 交歓スポーツ

第七回五城目町・鷹巣町交歓スポーツ大会は、八月二日、鷹巣町で行われた。当町からは選手役員など約百五十人が参加し、七種目に熱戦を展開した。

成績は次のとおり。

▽バスケットボール男子

鷹巣 76-56 五城目

▽同女子

五城目 56-30 鷹巣

▽バレーボール男子

鷹巣 2 2121 1916 0 五城目

▽同女子

鷹巣 2 232022 212220 1 五城目

▽同ママさん

五城目 2 2121 1012 0 鷹巣

▽卓球男子

鷹巣 3-2 五城目

▽テニス男子

鷹巣 3-0 五城目

▽同壮年

五城目 3-0 鷹巣

▽同ママさん

五城目 2-1 鷹巣

▽野球 三百六十歳

鷹巣 5-2 五城目

▽同朝野球

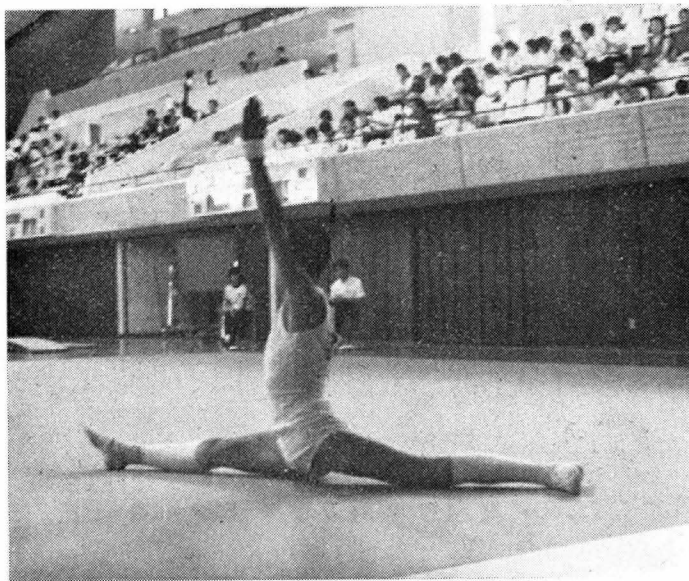
五城目 11-3 鷹巣

▽バトミントン男子

五城目 2-1 鷹巣

▽剣道男子

五城目 3-2 鷹巣



五一中・小林選手の床運動（撮影：笹村先生）

芸文報



駒草研修に参加して

森山婦人会会長

千田 キミエ

衛生について「講演、特に検診の励行、ガンの早期発見、伝染病防止、主婦は家庭の健康管理者であるなど貴重なお話でありました。レクリエーションでは各団体が地域においてできるような説明も取り入れ楽しくすごしました。」

七月十六日午前六時起床、ラジオ体操を行い田沢湖を眼下に見る高原でランニング、朝のさわやかな空気を胸いっぱい吸い、学校当時を思い出された朝のひとときでありました。九時から青木正和結核研究所第二研究部長の講演で「結核は正しく理解されているか」をテーマに行われました。特に結核は全国で大阪と愛知県が一番多



く、秋田県は少ない然し一年間に結核で死亡する人が五千人、新患者が八万人もいるとか。県内では五十五年度に五十五人が死亡している。また結核は遺伝と伝染の両方から発病し呼吸器で伝染する。患者の「せき」「くしゃみ」のしぶきの中の菌を吸いこんでうつるなど、その病気のおそろしさを説明し検診の必要と検診による早期発見に自ら取り組むべきだと力説されました。次に「脳卒中の予防について」伊藤正志由利組合病院副院長の講演が行われ、食生活の必要性と脳卒中撲滅運動についてお話しされました。映画では明治村をテーマに「見なおそう、わが家の加工食品」を上映したほか「結核予防婦人会の活動について」公開座談会を開き、三名の発表

第十一回秋田県結核予防婦人会幹部研修会が七月十五日から十七日までの三日間、田沢湖畔駒草荘で行われました。この研修には県内各市町村から百二十人の参加で私も参加する機会を得て有意義な日程を送り帰町いたしました。先ず十五日は朝七時五分、八郎潟駅発の列車で出発、あいにくの集中豪雨のため列車が遅れ、秋田駅に到着したときは、既に秋田発・田沢湖行きの列車は発車後で間に合わず結局大巾に遅れた列車で田沢湖高原に向いました。当日の会場受付は午前十時でありましたが私達が会場に到着したのはお昼ごろで、昼食もそこそこに開講式にのぞみました。先ず石塚清幸県福祉保健部長のあいさつ、小畑好子・結核予防婦人会県連会長のあいさつ、続いて千葉広善田沢湖畔町長代理の歓迎のあいさつがあり研修が始まりました。オリエンテーション、歌唱指導では笹村ミヨ・結核予防婦人会副会長が健康の歌を指導されました。次に佐藤広治県福祉保健部次長が「秋田県の公衆

がりました。地域における脳卒中予防活動について」林明子公衆衛生課主任の講演、夕食後キャンドルサービスが熊谷勇一郎社会教育主事の指導で行われました。その後各地区から芸能発表があったり、五城目保健所管内の私たち八人は保健婦さんから、にわかに教えられた手話による「フニクリ・フニクラ」の替え唄を披露しました。七月十七日午前八時半から「婦人のかかりやすいガンの予防について」小川英式秋田大学医学部助手の講演は子宮ガン、乳ガンについてのお話でした。続いて「現代における家庭民主化の道標」藤原久八・県生涯教育講師の講演では特に現代は生活規範がない情報過剰化社会、狂った社会生活のリズム、知識科学の運命、急速な高齢化社会であるなどが説明されました。素晴らしい講演の一言一言は受講者に感銘を与え全日程を終了しました。私は初めての参加でありましたが、受講した万分之一なりとも地域において実現したいものと貴重な三日間の日程を反省している次第でございます。

迷惑をかけますね

町 村

伊藤 万亀子

先日、娘が学校で「学習」のお金を袋ごとなくしてしまったと言った。それともいともあっさり明日持つていけばいいんだからと言う。私は、そんなあっさりした姿に腹が立って「あなたはいつもそうだ」とか、「もう保育所じゃないのよ。一年生なのよ。もっとしっかりしなくては」とか、よくも

こうペラペラ出てくるものだなあ、と、われながら感心するくらい説教した。

しかし娘は反省どころか全然気にしていない風もなく、まるでテレビ



でも勝手にしゃべっているという感じで、一向に気にかげず、本の付録に熱中している。それには

俳句交流会

近年短詩文芸の吟社や会の交流会が目立って多くなり、去る八月二日には五城目町如来寺を会場に蕉吟社・花恋吟社・天王俳句会の交流会に川柳鈴虫からも数名参加して和やかな交流会が行なわれた。以下は交流会の作品である。

風流す蝶引きとめし供華一把
一ひやくの水新墓に星の虫
空蟬の傾きすがり兵の墓
梵鐘を撞くや答える雲の峰
旅のしおり歳時記に狭み夏終る
如来寺や夏日輝やく鬼がわら
大暑にも仏お在すや大伽藍
仏域に夏の鳴く虫鳴かぬ虫
亡夫撰りし紺染ゆかたや三周忌
炎屋や梵鐘の余韻なお引き
法灯へ迫る茂みや大庇
本堂に句座を広げて青畳
鐘の音は如来寺なら夏霞
舍利塔の如来大慈は夏暈る
庭下駄の堅き鼻緒や寺涼し
蟬の声午睡の夢をむさばりぬ
高山の花をたずねて霧と遇う

川柳 すずむし 七月号

この一言に、お金をなくした本人より、説教した私が大きく反省させられた。
(馬場目小PTA広報15号から)

◆「文芸欄」では町内のみなさんの作品を募集しています。
◆役場文書広報課へ作品をお寄せください。

路地裏に暮らすドラマの泣き笑い
朝に夕神や仏に合う十指
半端ものだから半端な値で売られ
病む友へ嘘の指切りして別れ
スパーで言葉のいらぬ筆を持ち
貧しさは言わず語らず農の指
忘れた言葉葉を耳の奥に置く
思い出を誘うひとりに雨の音
停年の貌をしている休耕田
束の間のロマンにひたる一人旅
落書きに書かれたことも遠い過去
円満に解決したい嘘もある
五つ玉はじいて老いの胸算用
母の海恋しく亀の子砂を堀り
病む床で飛べない鶴を折り続け
愛枯れて樹海ただよう女舟
割引きをして聞く他人の裏話
美人だと言われ仮面ははずせない
空手形渡して夫婦という絆
ライバルに勝負を賭けたストレート
どの馬に張ろうか雑魚のめくら銭
コップ酒持てば仮面がずれてくる
子に賭けた夢もしぼんで行く育ち
神様の落書きもあるスラム街
野心家の強気は異の端に立ち

鍋谷 福枝
藤原 文
柴 みつ
佐藤 貞
八木下みき
渡部 姚子
松田ウタ子
草皆 チェ
納谷 喜代
福島 ミツ
佐藤はる江
佐々木敏子
平川みつえ
伊藤 キミ
細田 陽炎
一関 北柳
本庄 湖水
和田 梅里
荒川祥一郎
渡辺松風
加藤 円心
渡部 光人
柴田 銀河
越後 一蝶
今野 一城

9月 ごみ収集日

町内名	56年 9 月					
	1回	2回	3回	4回	5回	6回
広ケ野	1	7	12	19	26	
新里町	1	7	12	19	26	
希望ヶ丘	1	7	12	19	26	
田町	1	7	12	19	26	
上田町	1	7	12	19	26	
今田町	1	7	12	19	26	
御蔵町	1	7	12	19	26	
小池町	1	7	12	19	26	
川原町	1	7	12	19	26	
新番町	2	8	15	20	27	
古川町	2	8	15	20	27	
紀久栄町	2	8	15	20	27	
中川原町	2	8	15	20	27	
館岩城町	2	8	15	20	27	
築地町	3	10	17	22	29	
畑町	3	10	17	22	29	
新畑崎	3	10	17	22	29	
矢場	3	10	17	22	29	
仲長町	5	11	18	25	30	
米沢町	5	11	18	25	30	
雀館町	5	11	18	25	30	
昭辰町	5	11	18	25	30	
大川一区	5	11	18	25	30	
二区	5	11	18	25	30	
三区	5	11	18	25	30	
四区	5	11	18	25	30	
馬場目	4	14	24			
富津内川	4	14	24			
大川(本村以外)	9	19	29			
面湯川	9	19	29			
馬場	9	19	29			

休み 6日・13日・16日・21日・23日・28日

< 直接搬入料 >

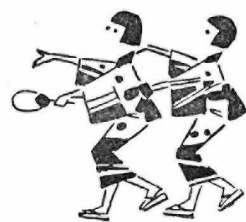
2トン未満 1回につき 600円
2～4トン未満 1回につき 900円
4トン以上 1回につき 1,350円
※ 収集日が多少変更になることもあるので広報のごみ収集日程表を必ず見るようにしてください。

焼却場にゴミを直接搬入する場合は、4月1日から直接搬入券が必要になりました。この搬入券は、焼却場入口にある館岡商店(☎2-3367)で売っておりますのでご利用ください。

▼期日・会場
秋田・河辺・男鹿・南秋地区
8月24日・26日
県特殊教育センター
▼対象
就学前幼児(四・五歳)の保護者
▼相談方法
保護者との話し合いが中心になります。場合によっては、お子さんの観察や簡単な診察があります。

▼試験日時
昭和56年10月18日(日)
午後1時から3時まで
▼試験場所
秋田市手形学園町1番1号
秋田大学教育学部
▼申込受付期間
昭和56年8月31日から
9月4日まで
▼申込受付場所
県内各土木事務所

「国際障害者年」記念
論文・作文募集
国際障害者年を迎える世界は今、障害を持つ人々の社会への「完全参加と平等」という目標をめざして、歩みを始めております。
昭和五十一年(一九五六)の国際連合第三十一年総会において、昭和



【おしらせ】

五十六年(一九八一年)を国際障害者年とする決議がなされました。テーマは「完全参加と平等」という目標の実現を促進することにあります。
「参加」とは単なる社会生活への参加にとどまらず、さまざまな分野で社会の発展に貢献することを意味します。
また、「平等」とは障害を持つ人も、持たない人も同じ生活を送り、社会の発展による幸福を等しくうけることです。
このような主旨で実施される国際障害者年について、正しい認識と理解を深めるため、県では、県民の方々から、広く障害者福祉に対する意見、体験などを「論文・作文」として募集しています。

▽募集

①募集対象
小学校、中学校、高等学校の児童・生徒、大学生および一般。

②題材
「国際障害者年を考える」をテーマにしたもの。
例えば：
・障害児(者)とともにボランティア活動に参加して障害を克服して
・私の障害者福祉論
などが考えられますが、サブタイトルは応募者の自由です。
③原稿
論文
四百字詰原稿用紙四枚程度(小・中学校、高等学校)
作文
四百字詰原稿用紙八枚程度(大学生および一般)
なお、住所、氏名(ふりがな)性別、年齢(学年)、学校名、職業を付記してください。

就労前に健康診断を

町では出稼対策事業の一環として、夏期就労前健康診断を行います。

出稼者のみなさん

送り先
〒000
秋田市山王四丁目一
(☎023-2253)
秋田県福祉保健部
障害福祉課内
「論文・作文」募集係

心身障害児の就学相談

県教育委員会と文部省では、心身障害児の就学指導を適正かつ円滑に推進するため、県内八カ所で保護者を対象とした心身障害児巡回就学相談を行います。

就学前のお子さんの心身の発達のこと、心配や悩みをお持ちの保護者は、気軽にご利用ください。

就労前健康診断を受けた方で互助会に加入した場合、ケガ、病気、火災など発生した時は、五万円またはそれ以上の見舞金が給付されます。

健康と生活展の開催

五城目保健所では、健康で暮らしよい生活を実現するため、保健所内で九月三日から四日(時間は午前八時三十分～午後五時)まで次のコーナーを設けて、健康と生活展を開催します。
・健康相談コーナー
・栄養食コーナー
・減塩食コーナー
・漢方薬コーナー
・正しい薬の使い方コーナー
・食品衛生コーナー
・環境衛生コーナー
・公害コーナー

▼相談相手
医師
特殊教育センター所員
特殊教育専門教員
▼申し込み
相談を希望する方は、町の教育委員会に電話などで連絡してください。